Ⅱ　JARQ 執筆要領

2019 年 4 月改訂

1　原稿の作成

1）原稿は英文で作成する。

(1) 提出物（本文、図、表、送り状、英文校閲証明書）は、電子ファイルを E メールで、印刷物 1 部を郵送で JARQ 編集担当に送付する。

・原稿等郵送先：〒305-8686　茨城県つくば市大わし 1-1
　　国際農林水産業研究センター　企画連携部　情報広報室　JARQ 編集担当
・原稿等送信先：jarq@ml.affrc.go.jp
・問い合せ先　　Tel：029-838-6710　　e-mail：jarq@ml.affrc.go.jp

(2) 編集委員受理確認後、受理原稿を電子ファイルで提出すること。

(3) JIRCAS による英文校閲終了後、印刷用最終原稿を電子ファイルで提出すること。
電子ファイル：本文は Windows 版 Word（Mac の場合は Windows で読める Word）、
表は Windows 版 Excel などを用いて、編集可能な形式で作成すること。

2）学術用語は、文部科学省編学術用語集による。
それに無い学術用語は各学会の慣例に従う。

3）原稿は、Ａ４判用紙を用い、マージンを上下左右各３㎝とする。
文字フォント：Times New Roman
文字サイズ：11 ﾎﾟｲﾝﾄ、一頁 25 行。
原稿には、ページ左側に全文通しで行番号を付与し、ページ下部中央にページ番号を付与すること。

4）論文の長さは原則として次のとおりとする。
提出時　本文原稿：　10 頁（References, Figure legends を含む）
　　表・図：　別紙に作成する。本文原稿の右欄外に Table 1, Fig. 1 のように
　　挿入位置を示す。（Word の挿入テキストボックス機能を使用する）
　　カラー頁を要する場合は原則として、一論文にカラー頁は一枚。

5）執筆者は、原則として日本人１名以上を含むものとする。
Corresponding author との対応は日本語で行う。
論文が共著の場合には、内外を問わず、執筆者が共著者及び相手機関等に JARQ 掲載についての了解を得ることとする。

6）タイトルページについて（見本参照）

(1) タイトル：内容を的確かつ簡潔に表わすものとする。
(2) 著者名：フルネーム、名は小文字で前、姓は大文字で後に記す。
(3) 部名、所属機関、所在地。
(4) Abstract：約 200 words
(5) Discipline：執筆要領３［専門分野名リスト］の Discipline for Papers から選ぶ。
(6) Additional key words：タイトルに含まれていないもの、5 words 以内。アルファベット順に記載する。

(7) 研究の背景（プロジェクト名、共同研究機関名、実施場所、実施期間、資金源など）と謝辞は Acknowledgment に記す。
(8) *Corresponding author：連絡先著者の e-mail アドレスを記す。
(9) Running title：10 語以内で記す。タイトルが 10 語以下の場合はそのまま使用する。

7）見出しの順位は、以下のようにする。

第 1 順位：番号なしで 11Point 太字	**Introduction**
第 2 順位：番号で 11Point 太字	**1. Analysis**
第 3 順位：番号で 11Point 両括弧	(1) Effect

8）本文は、ピリオドおよびコンマの後は半角一文字空けとする。
段落の書き出しは、Space key で空けずに、Tab key で空ける。

9）学名はイタリックで書く。

１０）単位表示は原則として SI 単位を用いる。

[例] 長さ： km, m, cm, mm, μm , nm

面積：	km^2, m^2, cm^2, mm^2, ha, a
容積：	kL, L, mL,
体積：	km^3, m^3, cm^3, mm^3
質量・重量：	t, kg, g, mg,
時間：	y, day, h, min, s （hours, hr, hrs などは使わない）
質量濃度：	kg/m^3, g/L（又は kg m^{-3}, kg･m^{-3}, g L^{-1}, g･L^{-1}）
モル濃度：	mol/m^3, mol/L (又は mol m^{-3}, mol･m^{-3}, mol L^{-1}, mol･L^{-1})
その他：	℃, 同位元素 ^{32}P, 酸化還元電位 Eh, 水素イオン濃度 pH

・省略のピリオドはつけない（例えば、mg　L など）。
・複数形を使用しない。
・%, ℃の単位は space を空けずに書く（25%, 25℃）。

１１）引用文献はそれを引用してある箇所（本文中、あるいは図表）に、著者名と年号を（　）書きで表示する。
[例] markers have increased（Debener 2001, Deschamps & Campbell 2010, Onozaki et al. 1999）.

１２）引用文献について
(1) 引用文献は本文のあとに References と表示し、著者名（機関名の場合も含む）のアルファベット順に記載する（通し番号はつけない）。
同一著者のものが二つ以上ある場合は発表年次順とする。
同一著者かつ同一年のものが二つ以上ある場合は年号の後にアルファベット（a, b, ･･･）をつける。

(2) 記載の方法
① 著者名： 姓前、名後（イニシャルのみ）とする。
複数の場合も同様とし、& (and にしない)を使用する。
3 人以上の場合は、第 1 著者名のみ記載し、et al. を付ける。

② 年　号：　　西暦で示し、括弧書きとする。
③ タイトル名：
④ 誌　名：　　単行本の誌名はイタリックとする。
雑誌名の略称は、原則として公表された基準によることとし、イタリックとする。
日本語の誌名の場合は原則として、日本語の誌名をローマ字で表記した後、（　　）　の中に英訳誌名を記す。又、文献の末尾には［In Japanese］とし、英文サマリーのある場合は［In Japanese with English summary］と記載する。
⑤ 巻：　　巻は太字とする。
⑥ 発行所：　論文集・単行本の場合には、記載する。
⑦ 発行地：　論文集・単行本の場合には、都市名・国名を記載する。
⑧ 頁　数：　引用論文の始めと終わりのページをハイフン（半角）で分けて記す。単行本などで全体を引用した場合は、pp. で示す。(pp. 251)

（3）記載例

① 雑誌記事の場合：

著者名（年号）タイトル. 誌名, 巻号, 頁数.

[例]　Kondo, T. et al. (1997) Structural changes of forage grass lignin by rumen digestion. *JARQ*, **31**, 49-54.

② 論文集の場合：

著者名（年号）タイトル. *In* 書名, ed. 編者名, 発行者（所）, 発行地, 頁数.

[例]　Chern, S. & Pallardy, S. (1998) Food security in Asia. *In* Sustainable agricultural development. JIRCAS Int. Symp. Ser. No. 6, eds. Horiuchi, H. & Tsubota, K., JIRCAS, Tsukuba, Japan, 1-11.

③ 単行本の場合：

著者名（年号）書名. 発行所, 発行地, 頁数.

[例]　Atherton, J. G. (1987) *Manipulation of flowering.* Butterworths, Kent, UK, pp.425.

④日本語の文献の場合（雑誌記事）：

著者名（年号）タイトル. 日本語誌名（英名）／（英訳名）, 巻号, 頁数 [In Japanese]／[In Japanese with English summary].

[例]　Kinoshita, T. (1999) Migration of kichiji rockfish in southern Okhotsk Sea estimated from tagging experiments. *Nippon suisan gakkaishi* (*J. Jpn. Soc. Fish. Sci.)*, **65**, 73-77 [In Japanese with English summary].

⑤インターネット情報の場合：

情報元名：タイトル.　HP アドレス。

[例] FAO　：FAOSTAT, FAO Statistic databases. http://apps.fao.org./default.jsp.

１３）英文校閲について

論文査読を円滑に進めるため、投稿原稿は必ず事前に英文校閲を受けることとし*、投稿の際に英文校閲を受けたことを証明する書類（例：英文校閲業者発行の証明書等）を添付するものとする。

＊但し、執筆者が英語を母国語とし、英文校閲の必要が無い場合は例外とし、その旨「送り状の 11. その他要望事項」に明記する。

２　別　刷

別刷を必要とする場合は実費を著者の負担とする。その場合、印刷希望部数を「送り状」該当箇所に明記する。

３　専門分野（**Disciplines**）名リスト

Discipline for Contents	**Discipline for Papers**
1. Biotechnology	Biotechnology Genetic resources
2. Crop Science	Crop production Plant breeding Tea science Weed control
3. Agricultural Environment	Agricultural chemicals Agricultural environment Agro-meteorology Insect pest Plant disease (Plant pathology) Plant protection Soils, fertilizers and plant nutrition
4. Agricultural Engineering	Agricultural engineering Agricultural facilities Agricultural machinery GIS Irrigation, drainage and rural engineering Remote sensing
5. Food	Food chemistry Food technology
6. Social Science	Agricultural economics Environmental economics Farm management Rural sociology
7.Horticulture	Floriculture Horticulture

8.Sericulture	Sericulture
9.Animal Science	Animal health Animal industry Animal pest Grassland
10.Forestry	Forest products Forestry
11.Fisheries	Aquaculture Fisheries
12.1nformation Technology	Information technology
13.Farming System	Participatory research Systems research Watershed and regional resource management
14.Biomass Utilization	Biofuel Biomass transformation Biomaterial

見本

Effect of Feeding a Low Crude Finishing … Times New Roman pt 14 Bold

改行 半角挿入

Mako YAMA[1*], Hiro INOUE [2] and Yu KAJI [3] pt 11 Bold

改行

[1] Livestock Division, Kyushu Center, National Organization, Koshi, Japan 所属, 都市名, 国名

改行

Abstract Bold

The effects of reducing dietary crude protein……

改行

Discipline Bold **:** Agricultural facilities

Additional key words Bold **:** amino acids, fat deposition タイトルに含まれていないもの、5 words まで、アルファベット順、小文字

改行

[*] Corresponding author: e-mail yama@********

Received DDMMYYYY; accepted DDMMYYYY

Running title: Low-CP diet for finishing pigs at high ambient temperatures 10 words 以内

改行

Introduction

改行

タブ According to the prediction of the Intergovernmental Panel on ….

改行

Materials and methods

改行

1. Materials

タブ All the experimental procedures were …...

Table 1. Current consumption … in the village 中央揃え

No.	↑２重線	English name [a]	Scientific name	Availability [b]
Fishes		↑１重線		
1	Pa duk en	Walking catfish	*Clarias batrachus*	++
2	Pa duk oui	Bighead catfish	*Clarias macrocephalus*	-
3	Pa tong	Bronze featherback	*Notopterus notopterus*	++
Snails and Clams				
4	Hoy pakkouang	Apple snail	*Pomacea spp.*	+
5	↓１重線	Apple snail	*Pila sp.*	++

[a] English name was …..
[b] Availability was estimated …..

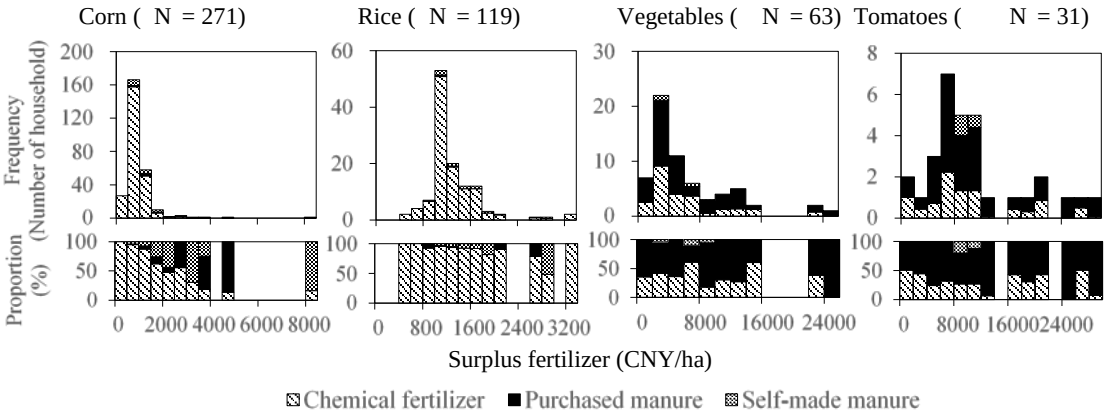

Fig. 1. Histograms of surplus fertilizer and share of its components 左揃え

The range of X array in each histogram is 500 CNY/ha (corn) ……